

# 伸びる神立の子



H23年10月19日  
神立小学校  
子育て便り 1

## かわいいわが子を伸ばすために

すくすくと元気に育つ子どもたちを見ていると、親としてとても幸せな気持ちになります。親にとって子どもの成長は生きがいでもあります。

この世に生を受け、我が子となった目の前の子。この子の将来を思って、「できるならば子どもの能力を伸ばしてあげたい」、「よりよい人生を送ってほしい」と願うのは親の気持ちではないかと思えます。

そんなお父さんやお母さん方のために少しでも参考になればと、これからシリーズで「伸びる神立の子」をお届けしたいと思います。子育てについて一緒に考えていただけたらありがたいです。

## お子さんは「時速60km」の意味を知っていますか？

まず、学習面に関するお話をしたと思います。少し前のことになりましたが、ある小学校で算数の「速さ」の学習をする前の6年生に「時速60kmってどういう意味ですか？」と聞いたことがあります。何人くらいの子供が、その意味を知っていたと思えますか？

「時速60km」という言葉を聞いたことのある児童は、30人中29人でした。「時速何キロ」という言葉は、普通に自動車に乗っていいれば、聞こえてくるものなので、聞いたことがない児童がいたことは、まず意外でした。でも、もっと驚いたことは、その意味を知っている児童が3人しかいなかったことでした。

同じように、別の2つの学級でも調べてみましたが、結果は同様でした。「時速60km」の意味を知っていた子に「誰に教えてもらったの？」と聞くと、すべて「お父さん」または「お母さん」、場所は「車の中」ということでした。その子たちは算数の授業で「速さ」の学習をする前に生活の中で、すでに「速さ」を体験から学んでいたことになりました。そして、その後のその子たちは、例外なくテストの成績も優秀でした。

「時速60kmは、1時間に60km走る速さのこと」となげなく親に教えてもらったことが、やがて学校での学びに生かされ「速さ＝道のり÷時間」という算数的な理解につながっていくのです。子どもにとって、第1の先生は学校の教師ではなく、お家のお父さんやお母さんなのかもしれません。



## 子どもを伸ばす小さなアイデア その1

(このコーナーでは子どもの成長をささえる親としての小さなアイデアをこれから何回か提案していく予定です。子育ての参考にしていただければありがたいです。)

### 1 愛情をもって子どもを見守ることがまず大事

子どもを伸ばすために、まず大切なことは、子どもの成長に関心を持つこと、愛情をたっぷり注ぐことです。親に大切にされているという実感、親に愛されているという実感が子どものやる気、エネルギーになります。

さて、まずはお子さんの学習状況に関心をもって見ていただけたらと思います。子どもの学習ノートやテストの結果などを見て、どんなところが得意でどんなところが苦手なのかは知っておきたいものです。だからといってテストの結果に親が一喜一憂してるようでは子どもの心が不安定になってしまいよろしくありません。温かく長い目で見て、励ましたり間違いを直してあげたりすることで子どもは伸びていくものです。